

産子数が多い。生産者のチャレンジ

～里子？早期離乳？：産子数の多さを解決する一手段～

ベルギーのある生産者のトライアル 隔離離乳手法で事故率が 50%縮小

バーナード・ワンベーク(Bernard Wambeke, 43 歳)さんは、妻のクリスタ(Christa Wambeke-Voet, 43 歳)さんとベルギーのウェストフランドラ地方のピッテムという町で一貫経営を営んでいる。夫婦は全部で二つのサイトで 770 頭の母豚と 800 頭の肥育豚を管理している。最近はさらに 350 頭収容の妊娠豚舎と増えた子豚を別個管理するための離乳舎を建てた。これは一部屋 8m×4mの大きさで、さらに二つに分かれて全部で 4 ペンある。母豚のグループ管理として、衛生面でも生産面でも目的にかなう理想のフローが出来上がったと喜んでいる。

離乳舎のペンはほとんど新建材で作られており、後ろ側には囲いがあり、中にケネルもある。ヒーターはデルタチューブで基本温度は 28 度に設定されている。

「ミルクウィーンフィーダー」という自動給餌器がそれだ。UKの G.E. Baker 氏の「Transition Feeder」社製造のユニークなフィーダーで、実際にはベルギーの Trouw Nutrition 社から購入したものである。給餌器は暖かいリキッドフィードを若令子豚に給餌できるもので、つまみで皿に落ちる飼料の量を調整できるだけでなく、ダイヤルで給餌時間も操作できる。子豚の大きさに合わせて毎日濃度や時間などを調節する必要がある。

戦略的な活用

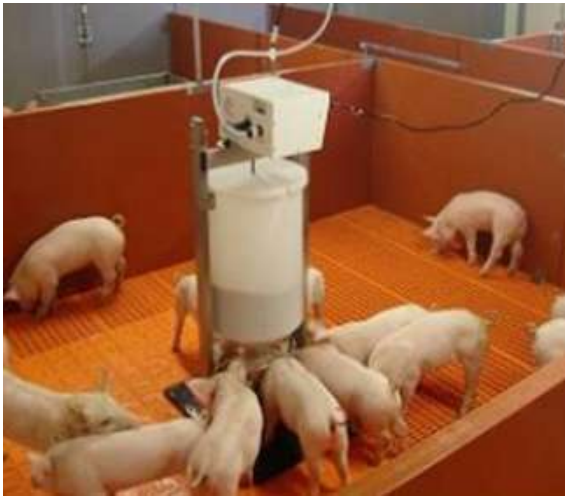
夫婦は離乳舎で 40 頭を一群として再編している。今まで夫婦は里子を強力にやってきたが、現在では余剰子豚は抜きとり、より理想的な環境で管理した方が良いことがわかってきた。夫のバーナード曰く、「生まれた子豚のうち、あるレベル以下の小さな子豚がどれくらいいるのかに応じて、13～14 頭の群に編成し、早期離乳用の管理を行うことにした。」「8 日令も付けてから一番大きな豚を離乳してもうまく行かないこともある。どうしても 3 列目の乳房を選んだ子豚は大きな豚がいなくなっても、その後よい乳頭にあり付けるとは限らない。しかし状況に応じて母豚のナースも併用活用している。」

飼料は豚の発育とともに内容および与え方を調節していく必要がある。新しい離乳給餌器であれば、こうした細かい給餌機能を持っているので便利だ。基本となる栄養はスキムミルク、哺乳期のミルクタンパク質、離乳期の餌をクランブルにしたようなもので、体重 5kg程度の子豚の腸の発達具合に合わせた内容組成になっている。ミルク蛋白が次第に離乳期飼料のクランブルに置き換わりつつあるところで、次のステージに移動する、この時が大体生後 21 日令くらいだろうか。

給餌器についてももう少し詳しく紹介しよう。給餌器はリキッドフィードが出る時に子豚にも聞こえる小さな音を発する。床も豚も大変きれいだ。飼料のこぼれも下痢もない。子豚の生理にあったこのフィーダーを使うことで、冷たいリキッドフィードを使っていた時に経験した色々な問題も解消してしまった。

こうして 2～3 か月の間に子豚の事故率は以前の 50%以下にまで激減した。様々な要因の相乗結果によってもたらされたものであることは間違いないが、基本的な戦略的給餌法が成功の一因だと思う。個々の離乳舎管理は今では毎日の作業として重要である。管理方法を変えると直ちに子豚の生産性は向上し、なんと母豚当り 25 頭の生産から 27 頭にまで押し上げることができた。

Jul 2009 Pig Progress より



自動給餌器に群がる離乳子豚たち



泥状の液状の餌が少量ずつ定時に出る

2011年1月 グローバルピッグファーム(株)

部分離乳の解決策 (The solution for partial weaning!)

母豚からの乳量を十分とれない場合や近年改良された多産系の母豚での成績向上に部分離乳は応用されている。せっかく生まれた子豚も弱い豚から事故率増加になりがちである。またそれは仮に離乳できたとしてもその後の離乳肥育期での発育に大きなバラツキを生む要因となる。

人工乳やプレミアム飼料の混合給餌で、「ミルクウィーン」という特殊な給餌器を使用すると3kg以上の小さな哺乳子豚の管理に有効に生かせる。このフィーダーの特徴として、少量の飼料を定時に与えられるという利点があり、子豚が母乳をもらう同じ行動様式で栄養が摂取できることが最大の強みである。そのため消化器に過度なストレスを与えることなく健康な腸管の発達を促すこともできると考えられている。子豚の発育が順調に行っていることは体重の増加で表されるはずである。

特徴:

- * 餌の混合がすぐにできる (インスタント)
- * 理想的な形状で与えることができる
- * いつも新鮮な餌を給餌できる (反面、毎日の管理が必要になってくる)
- * 給餌時間を調節できる (1時間に1回など)
- * 水の割合 (リキッドの濃度) を調節できる
- * 温められる (ヒーターと攪拌棒付き)
- * 4日令からの子豚最大 20-30 頭まで対応
- * 45 頭までの豚を 15kg まで管理できる



Milkiwean Feeder (ミルキーウィーンフィーダー)